

募集代理店

MIZUHO  
Channel to Discovery

みずほ銀行

引受保険会社

アクサ生命保険株式会社 AXA  
redefining / standards

アクサ生命の変額個人年金保険

# 5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期I型)付変額個人年金保険(06)  
保証金額付特別勘定年金特約(定期II型)付変額個人年金保険(06)

## 2009年度 特別勘定の現況 (世界分散型30DI)

### 決算のお知らせ


#### ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用  
状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

\* 受付時間: 平日 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

設定・運用は  
DIAMアセットマネジメント 

【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社 (旧: 興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社)

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

【利用する投資信託の委託会社商号変更のお知らせ】

2008年1月1日より、利用する投資信託の委託会社であります「興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社」が「DIAMアセットマネジメント株式会社」に商号変更いたしました。商号変更に伴う投資信託の名称・運用方針・運用体制などに変更はございません。当該日以後「商品パンフレット」「特別勘定のしおり」などに記載の同社名につきましては上記のようにお読替えいただきますようお願い申し上げます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期型)/(定期型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期型)/(定期型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要、注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているため、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）

## 特別勘定の現況（2009年度）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

## 運用環境 [ 2009年4月 ~ 2010年3月 ]

### 【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比+26.52%上昇の978.81ポイント(前期末は773.66ポイント)で終了しました。

8月までは、世界的な景気底入れと金融システム安定化への期待感などを背景に上昇基調が続き、900ポイント台後半まで上昇しました。その後、急速な円高の進行や新政権の政策に対する不透明感などを受けて11月末までは軟調な展開となり、800ポイント台前半まで下落しました。しかし、期末にかけ、円高が一服したことや日銀の追加的金融緩和、景気回復期待による米国株式市場の上昇などを受けて再び上昇に転じました。

業種別(東証33業種)では、景気回復期待と資源高から「卸売業」(前期末比+52.71%)が最も上昇した一方、日本航空が上場廃止となった「空運業」(同-53.49%)が最も下落しました。

### 【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+42.68%上昇の10,856.63ポイント(前期末は7,608.92ポイント)で終了しました。

10月までは、金融システムの安定化や予想を上回る企業業績などから大幅に上昇しました。11月以降、ドバイの債務問題やギリシャの財政悪化懸念などによる景気の先行き不透明感が嫌気される局面もありましたが、低金利政策の継続などを好感し、上昇基調で推移しました。

欧州株式市場も、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+44.66%上昇、仏CAC40は同+41.56%上昇、独DAXは同+50.65%上昇となりました。米国と同様に、世界的な景気回復期待を背景に大幅な上昇となりました。

### 【日本債券市場】

日本債券市場は、揉み合いの動きが続きました。新発10年国債利回りは1.395%となりました(前期末は1.340%)。

国内外での景気底入れ期待を背景とした株高と国債増発による需給悪化懸念などから6月に一時1.5%台半ばまで上昇しました。しかしその後は、景気回復期待や財政問題を背景とした需給悪化懸念などによる金利上昇圧力と、日銀のデフレ克服に向けた低金利政策の長期化やドバイの債務問題などを背景とした債券買いによる金利低下圧力が交錯し、概ね1.2~1.4%台のレンジで揉み合いながら推移しました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

### 【外国債券市場】

米国債券市場は、金利上昇しました。景気回復期待と国債需給悪化懸念などから上昇基調で始まり、6月には米10年国債利回りは一時4%台まで上昇しました。その後、FRB(米連邦準備制度理事会)の低金利政策継続観測などは債券の買い材料となり、3%台前半まで金利は低下しましたが、2月にFRBが公定歩合を引き上げたことや景気回復期待などを背景とした株高などにより、期末は3.826%(前期末は2.663%)となりました。

欧州債券市場は、やや金利上昇しました。底堅い景気指標などから6月には独10年国債利回りは3.7%台に上昇した後、米市場に連動して堅調に推移しました。11月のドバイの債務問題や12月のギリシャの国債格下げなどを背景に、後半は相対的に安全と見られる独国債が選好された結果、期末は3.092%(前期末は2.994%)となりました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は、政策金利を4月と5月に0.25%ずつ引き下げ、年1.0%としました。

### 【外国為替市場】

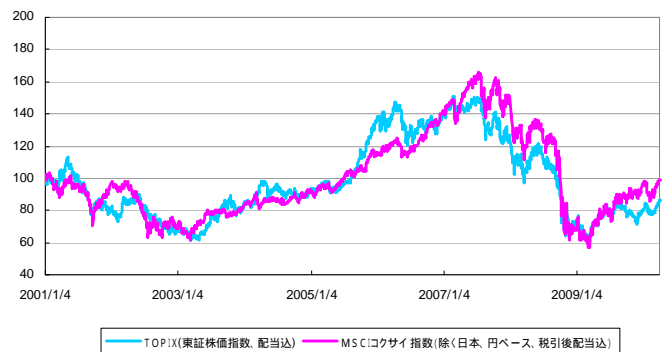
外国為替市場は、円高基調で推移しました。

米ドル/円相場は、米国における低金利政策の長期化観測や、日本の新政権による円高容認観測などを受けて円高基調で推移しました。11月下旬にはドバイの債務問題による避難先通貨として円買いが強まったことから、1ドル=86円台まで円高が進行しました。期末には、円は対ドルで前期末比5円19銭(+5.28%)円高ドル安の1ドル=93円04銭となりました。

ユーロ/円相場は、1月の中旬まで概ね130円台で推移しましたが、ギリシャの財政悪化懸念を受けてリスク回避の動きが強まること、ユーロは対主要通貨で売られ、急激にユーロ安円高が進みました。円は対ユーロで前期末比4円92銭(+3.79%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

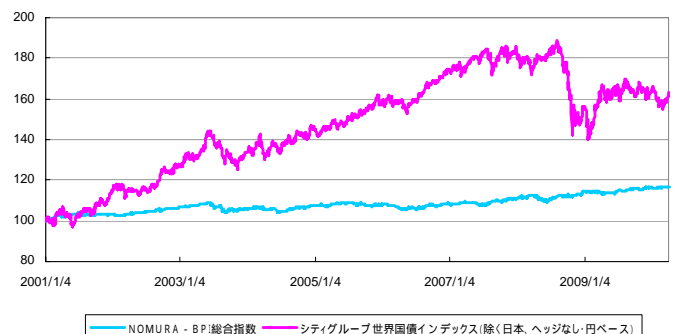
### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

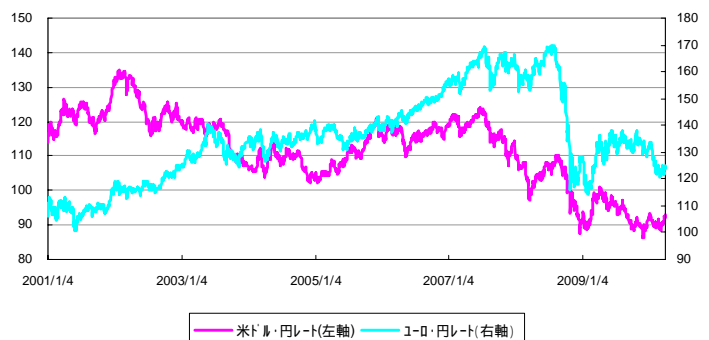


### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



### 外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL：0120 375 193  
アクサ生命ホームページ

保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)  
 保証金額付特別勘定年金特約(定期型)付変額個人年金保険(06)  
**特別勘定の現況 (2009年度)**

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

**特別勘定の運用方針および運用状況 [2010年3月末日現在]**

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型30DI	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	<p>当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。</p> <p>基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。</p> <p>国内株式：10%      外国株式：20%                      国内債券：30%      外国債券(為替ヘッジなし)：25%                      外国債券(為替ヘッジあり)：15%</p> <p>リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。</p> <p>当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。</p>

**特別勘定の運用コメント(2009年4月1日 - 2010年3月末日)**

2009年度のユニット騰落率は+9.44%となりました。先述の運用環境下、投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指しました。その結果、ほぼベンチマークに連動する収益率となりました。引き続きベンチマークに連動する収益率が得られるよう、ベンチマーク構成比から大きく乖離しないよう各マザーファンドを組み入れます。

**特別勘定のユニットプライスの推移**

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2010年3月末	83.51	過去1ヵ月	3.91
2009年12月末	82.83	過去3ヵ月	0.81
2009年9月末	81.94	過去6ヵ月	1.91
2009年6月末	80.80	過去1年	9.44
2009年3月末	76.30	過去3年	15.71
2008年12月末	77.49	設定来	16.49

- 世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

**特別勘定資産の内訳**

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	15,455,375	98.8
現預金・コールローン	184,250	1.2
その他	-	-
合計	15,639,626	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

**特別勘定資産の運用収支状況**

項目	金額(千円)
利息配当金収入	58
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	1,798,987
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	86,959
収支差計	1,712,086

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)  
株式会社みずほ銀行

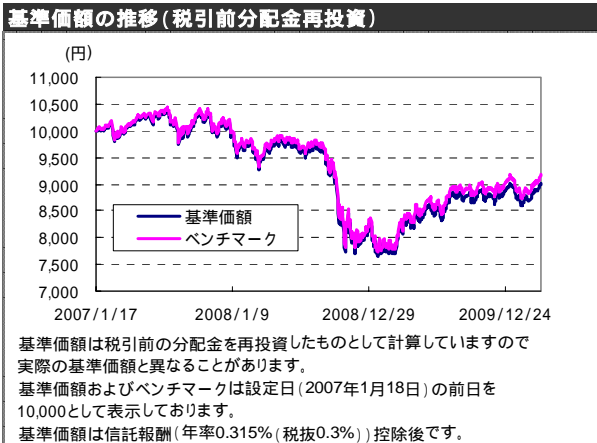
【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL:0120 375 193  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
**特別勘定の現況（2009年度）**

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

**<参考> DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)の運用状況 [2010年3月末日現在]**

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



**当月末基準価額・純資産総額**

基準価額	9,027 円
純資産総額	33,127 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

**騰落率 (税引前分配金再投資)**

	1ヵ月 (2010/02/26)	3ヵ月 (2009/12/30)	6ヵ月 (2009/09/30)	1年 (2009/03/31)	3年 (2007/03/30)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	4.15%	1.39%	3.11%	12.11%	-9.64%	-9.73%
ベンチマーク	4.29%	1.42%	3.43%	12.93%	-8.40%	-8.16%
差	-0.14%	-0.03%	-0.32%	-0.82%	-1.24%	-1.57%

騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なります。

**ポートフォリオ構成**

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.2%	10.0%	0.2%
国内債券	29.7%	30.0%	-0.3%
外国株式	20.2%	20.0%	0.2%
外国債券	39.1%	40.0%	-0.9%
現金等	0.9%	0.0%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	-

**分配金情報 (税引前)**

期	日	内容	分配金(1万円当たり)
第1期	2007.06.22	分配金	0 円
第2期	2008.06.23	分配金	0 円
第3期	2009.06.22	分配金	0 円
累計分配金			0 円

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。  
 株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。  
 外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

直近3年分  
 分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

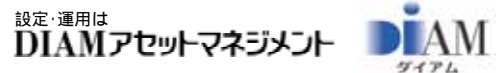
**ファンドの特色**

<b>主な投資対象</b>	主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
<b>投資方針</b>	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
<b>ベンチマーク</b>	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

**各資産のベンチマーク**

【国内株式】	東証株価指数 (TOPIX、配当込み)
【国内債券】	NOMURA - BPI総合
【外国株式】	MSCIコクサイ・インデックス (円換算ベース、配当込み)
【外国債券(為替ヘッジなし)】	シティグループ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
【外国債券(為替ヘッジあり)】	シティグループ世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース)

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託は、実質的に株式や債券等の価値のある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいすれもありません。当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成してありますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいすれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。



**【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)**  
 株式会社みずほ銀行

**【引受保険会社】**  
 アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
 TEL: 0120 375 193  
 アクサ生命保険株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
 保証金額付特別勘定年金特約（定期型）付変額個人年金保険（06）  
**リスク及び諸費用について**

**【投資リスクについて】**

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

**【諸費用について】**

- ！ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。  
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

**特別勘定繰入前に控除される費用**

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用 ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して <b>5%</b> (例)一時払保険料1,000万円の場合、 <b>50万円</b>	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

**据置期間中に控除される費用**

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.3%</b> (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約631円</b>	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.315%程度</b> (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約87円</b>	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

**年金受取開始日以後に控除される費用（特別勘定年金受取期間中）**

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費 特別勘定年金受取累計金額（既払年金累計金額）と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して <b>年率2.3%</b> (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約631円</b>	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1 特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して <b>年率0.315%程度</b> (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 <b>1日あたり約87円</b>	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

**年金受取開始日以後に控除される費用（年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合）**

「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費*2 年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して <b>1.0%</b> (例)年金額が100万円の場合、 <b>1万円</b>	年金受取日に、責任準備金から控除します。

- \*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。
- \*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

**【その他の留意事項について】**

**受取総額保証金額（定期型）**

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間（5年～17年）と特別勘定年金受取期間（3年～15年）の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）  
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3  
TEL: 0120 375 193  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/